

市民の声と市の回答

番号	件名	市民の声(要旨)	市の回答	所管課	回答日
1	室内遊戯について	雪国の子供達、特に未就学児や小学生は外で雪のせいで遊べないですよね？むちゅランドは室内で遊べるけど、すべり台等なく、身体を動かせる物がなくつまらないと思います。そのためわざわざ三沢にあるスカイキッズ？室内に大型のすべり台3台、アスレチックなどある所まで出かけてます。新しい物で言えばマクドナルドにある子供が遊べる場所の大型番です。むつ市にもそういう室内で広々と遊べる遊具が沢山置ける施設を作って欲しいです。こういう意見がありましたって言うのを、掲示板に貼ってもらって、そこで回答して頂けると助かります。本当に目を通しているのか疑問なので。	現在、子どもが身体を動かして遊べる施設といたしまして、ウェルネスパーク及び大畑中央公園あさひな丘プールに幼児プールを設置しておりますほか、小学3年生以下は18歳以上の同伴者が必要となりますが、むつマエダアリーナにはボルダリング室がございます。 また、雪の状況にもよりますが、釜臥山スキー場のキッズゲレンデにおきましても、外遊びの場を開放しておりますので、御利用いただければと存じます。 その他ムチュ☆らんどや、市内で開催される様々なイベントにつきましては、子育て応援メールや、市公式LINEにて発信しておりますので、こちらもぜひ御参加ください。 新たな室内遊戯場というご要望につきましては、貴重なご意見として承り、今後の子育て環境の整備について取組を進めるなかで参考にさせていただきたいと存じます。 まずは、既存の施設や、各種イベント等の活用を御検討いただきたと考えておりますので、御理解賜りますようお願い申し上げます。 なお、いただいた御意見と回答は、市ホームページ「市民の声の公表について」において、毎月まとめて公表しておりますので、後ほど御確認くださいようお願いいたします。	子どもみらい部 子ども家庭課	3月8日
2	横断歩道の追加若しくは移動	ファミリーマートさとう本店前は交通量が多く、同店舗付近で道路を横断する人が多いです。 現在は交差点の田名部高等学校側に横断歩道が設置されているが、実際には店舗前を横断する人が多いので、店舗前に横断歩道を設置してもらえないでしょうか。 もしくは、田名部高等学校側の横断歩道を店舗前に移動してもらえないでしょうか。  FLAT	御要望のありましたファミリーマートさとう本店前への横断歩道の設置、または田名部高等学校側横断歩道の店舗前への移動要望につきまして、2月28日に所管のむつ警察署へ共有しましたので、御理解を賜りますようお願い申し上げます。	民生部 環境政策課	3月11日
3	第二川内小学校の解体について	第二川内小学校は2階の屋根が落ちてしまっている状態です。 子ども達が学校に入ってしまったら近くを通った際に崩れたりすると危険だと思うので、学校を解体してもらえないでしょうか。  FLAT	御意見を頂戴しました、第二川内小学校についてですが、教育委員会でも同校の現状については承知しており、年に数回程度、現地確認を行っております。建物の状況を鑑みると、御要望のあったとおり、解体が望ましいことはこちらでも同様の認識を持っているところであり、市で保有している廃施設のなかでも、安全面から解体の優先度は上位にあるものと思われます。一方で、施設規模や現況から、解体には億単位の経費が発生すると見込まれており、他事業との兼ね合いや、市の財政状況からなかなか着手できていないのが現状でございます。今後も状況把握に努めながら、解体に向けた検討を続けて参りますので、引き続き教育行政への御理解、御協力を賜りますよう、よろしくお願いたします。	教育委員会 総務課	3月19日
4	横断歩道か信号の設置を要望	熊野神社近くの十字路交差点について、車の交通量や歩行者が多く、事故も発生していることから、横断歩道か信号を設置してほしい。  FLAT	御要望のありました熊野神社近くの十字路交差点への横断歩道または信号機の設置につきまして、3月18日に所管のむつ警察署へ共有しましたので、御理解を賜りますようお願い申し上げます。	民生部 環境政策課	3月29日
5	パーソナル知育絵本の導入について	福島県伊達市などで行われている「地域オリジナル版パーソナル知育絵本」をプレゼントする取り組みを行ってはいかがでしょうか。 パーソナル知育絵本は、主人公を子どもの名前にしたり、子ども本人の好きなものを登場させられる「世界に一つだけの絵本」です。 絵本の読み聞かせは、子どもの想像力・表現力・語彙力の向上に貢献することから、成長が著しい1歳2歳3歳の幼児期に行政として読み聞かせの機会の提供としてプレゼントしているそうです。 「地域オリジナル」ですので地域のイメージキャラクターを入れることができるそうで、ムチュランファミリーを入れてもいいと思います。 また、むつ市と伊達市の人口や世帯数、年間出生率もほとんど一緒なので実現可能かと思えます。 さらに、子どもの興味と発達に合わせた絵本を検索できるシステム「びたりえ」というのも、図書館や保育園に導入している自治体もあるそうです。 まだパーソナル知育絵本を導入している自治体は少ないですが、むつ市で産んでよかったと、子育てのむつ市！と思ってもらえるように、先駆けて行ってみたいかがでしょうか？	この度はパーソナル知育絵本の導入について貴重な御意見、御提案を賜り、誠にありがとうございます。市では、絵本の贈呈は行っておりませんが、図書館において子どもの読書活動を推進するために土曜おはなし会や季節のおはなし会、読書スタンプラリー等の取組を行っているほか、離乳食教室や乳幼児健診の際にも絵本の読み聞かせを実施しております。子育て支援の拠点である「～Smile Kids Office～にっこりこ」において子どもにお勧めの絵本や読み聞かせの大切さを紹介する小冊子を生後4か月までの乳幼児家庭全戸訪問事業において保護者の皆様にお渡ししています。これらの取組により、親子で絵本を選び、絵本を楽しむ体験をサポートしながら、子どもの豊かな心を育み、健やかな成長に努めてまいりますので、御理解を賜りますようお願い申し上げます。	教育委員会 図書館	3月29日